

有安さんと大庭さんの 往復書簡

美幸さん

こんにちは！

本日は強めの雨が降っております。
少し急ぎの仕事を済ませて、甘いものを食べたいとアイスを買ってしまったら、案の定寒くなって小さな後悔をしています。

さて、「考えただけでワクワクが止まらないこと」。
私はワクワクとともに生きている人間で、仕事についてもワクワクすることが毎日あります。
何かにつけて誰かが喜ぶ「かもしれない」仕掛けをするのが大好きなのですが、私のワクワクの「ツボ」のようなものについてお話ししましょう。

たとえば、私のワクワク感が高まる瞬間のひとつは、贈り物をするときです。
大げさな贈り物だけではなくて、近所の友達におやつをおすそ分けするとか、書類と一緒に小さなしおりを送るとか、ポストカードの柄にこだわるとか、そんなとりとめもないことにワクワクします。

一時期、文香にもハマったことがあり、紙に香りを焚きつけたり、薄いお香を封入したりと工夫しました。

リモートワーカーになったり、友人が遠方に住むようになったりしたおかげで、至るところに贈り物をする相手が出て、小さめの荷物を送ることも増えました。
レターパックや宅急便コンパクトなど、小さな封筒・箱に入り切るものを選ぶのにも、ワクワクします。

岡山名物のマスキングテープ、地元のお店のオシャレなドリップバッグのコーヒー、シートマスクなど、地元の産品に詳しくなれたのも、PRを生業にする私にとっては嬉しいことです。

小さめの荷物ですと、相手に気を遣わせることも少ないですし、手軽なものを選ぶので、ストレートに喜んでもらいやすいのも、面白いなあと感じます。

有安さんと大庭さんの 往復書簡

一方で、お中元やお歳暮というものにはあまり興味がありません。

もちろん、仕事やお付き合いで贈ることはありますが、なんでもないときに届く小さなおたよりと、小さなプレゼントにワクワクする、少々身勝手な自分の特徴にも気づきました。

医局秘書の仕事をしていた時期もあり、芋の子を洗うかの如くたくさんの贈り先リストを抱え、業者さんに「発注する」という、真心をこめようにもこめきれない感じを禁じ得ませんでした。それをプライベートでは再現したくないという思いもあります。

いただいたもののことはずっと覚えていて、先日もとてもおいしいカステラを「食べたいなあ」と思っていたまさにそのときにいただきましたし、現場のお手伝いに出るときに、患者さんからいただくお手紙も大切にっています。

「つまらないものですが」よりも「これおいしいよ」と言われたい—ストレートなやりとりが、些細なやりとりの醍醐味だと感じます。

てらいのない、直球の表現に胸を打たれます。

美幸さんは、そんなストレートな思いを受け取ったエピソードはありますか？

オブラートに包むもよし、ストレートに伝えるもよしですが、ちょうどよい頃合いを身につけたいものだといつも思います。

雨が上がったら、お買い物に出ようと思っています！
頑張る友人にアドベントカレンダーを買いたくて、おいしいチョコレートが毎日出てくるものを狙っています。
自分用のものも買っていいかなあ…とても悩みます。

愛実



おいしかったカステラと、小児科の患者さんからのお手紙。最高のタイミングと素直な思いが宝物です。

愛実さん

こんにちは!

紅葉シーズンに突入し、京都では連日賑わいを見せております。
今年の9月から着付けを習い始め、最近を着物でのお出掛けも楽しんでいるということで、
着物&紅葉狩りを堪能しようと胸を躍らせております。

さて、今回は
「ストレートな思いを受け取ったエピソード」でしたね。

私自身がストレートに思いを伝える性格であるがゆえ、
周りもまっすぐに伝えてくださる方が多いです。
今回は、そんな中で最近のエピソードをお話することにいたしましょう。

先日、大学時代からの親友と会う機会がありました。
彼女はご主人の転勤に連れ添い遠方に住んでいるため、会うのは実に約2年ぶり。

2年前といえば、色々と思い悩み、精神的に低迷していた時期でした。
自身の収入の低さに悩むけれど、子どもは幼く時間的余裕がない。
それに加え、夫との関係もうまくいかない毎日…

華やかな生活から遠のき、大好きなショッピングもせず、
「母として主婦として生活しなければならない。」
という強迫観念めいたものに取り込まれておりました。
自己肯定感が下がり、自分自身を見失い、気が付けば「私なんて…」という、
若い頃忌み嫌っていたはずの言葉まで発していて。

基本的に性格は明るいので、友人の前でも明るく振る舞っていたのですが、
20年来の親友には色々と思うところがあったようです。

そんな私でしたが、転機があり今年からは新しい事に挑戦するようになりました。
色んな方とお出会いする中で視野や世界も広がっていきました。
ビジネスもプライベートも充実し、
大好きなショッピングもまた楽しむように。

「常に“I LOVE ME精神”で、一瞬一瞬を楽しんでいきたい♡」と心が変化したことによって、青春時代とは形が違いますが、輝かしい生活を少しずつ取り戻していったのです。

そんな中で2年ぶりに親友と再会。

現在の私の生活振りを目にした彼女は

「美幸、お帰り!! 本来の美幸らしさが戻ってきたね。

実は2年前、色々と押し殺しているみたいでかなり心配してたの。

パワフルで挑戦的で自分の欲望に素直で、中身は男前な…今の美幸が大好き♡」
と言われたのです。

私はこのストレートな言葉がとても嬉しかったです。

「そっか、これで良かったんだよね。世間の常識なんて関係ない!! 私らしく生きていこう。

家族や友人が私を認め大好きと言ってくれるなら、それでいい!!」

と完全に吹っ切れた出来事でした。

言葉は目には見えませんが、

心を温かく幸せにしてくれる一方で、時にナイフのように心を深く傷付けるもの。

実は、2年前に私が思い悩んだ発端も“言葉”でした。

だからこそ、言葉は重要であり、思いは大切にストレートに相手に伝えたいと思いました。

愛実さんには、私のように「吹っ切れた出来事」はございますか。

年齢を重ねると色んな状況に遭遇し、立場によって受け取り方も大きく変わると思います。

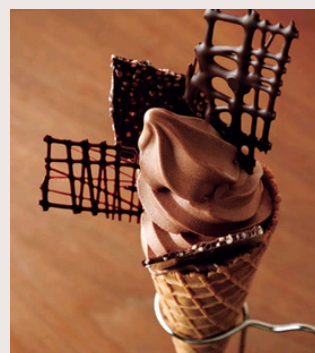
しっかりと軸を持ち、多少のことでは揺るがない精神力を養いたいものです。

私は心が疲れた時は甘いものを摂るようにしています。

こちらのパフェはお気に入りの1つです。いつか一緒してくださいね。

それでは、また♡

美幸



目にも美しく、口の中までとろけるチョコレート
の味。心が疲れてささくれたところを
そっと癒してくれるようです。